

末吉小だより

横浜市立末吉小学校
学校だより

令和3年 7月号

過去からの手紙



学校長 本庄 則子

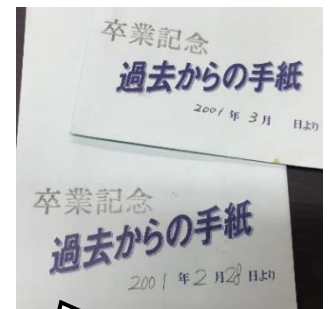
夏至を過ぎ、暑さが本番となってくる頃になりました。ニュースではオリンピック・パラリンピックの開催やワクチン接種についての報道が連日なされています。末吉小学校では、横浜市に出されているまん延防止等重点措置が延長されたことを受け、7月初旬に予定していた日光修学旅行を秋に延期いたしました。横浜市では、まん延防止等重点措置の間は宿泊を伴う学習はできません。秋にどのような状況になっているかは分かりませんが、安心して修学旅行が実施できることをただただ願っています。

そのような中、正門のツバメは子育てを終え、今年も巣立ちを迎えました。今回は週末に巣立ったため、月曜日の朝、空っぽになった巣を見上げている教職員や子どもたちがたくさんいました。今年のツバメは、巣立った後も時々戻ってきて巣に入り、おしゃべりをしているように高い声でさえずっています。何とも可愛くて、いやされます。実はスズメもピロティーに巣をつくっており、どうなることかと毎日見守っています。

さて、5月中旬のある日、学校のポストに水色の「宛先不明」の封筒が何通も届きました。「過去からの手紙」「卒業記念」の文字が印刷されています。「2001年」とも書かれていました。封筒からわかる内容をもとに卒業アルバムをたどると、2001年3月に卒業した児童（平成12年度の卒業生）のものと分かりました。卒業時に担任だった現職の先生を探して話を聞いたところ、6年生のときに中学校卒業時の自分に向けて手紙を書いたとのこと。業者をお願いしたのですが、なぜか3年後ではなく20年後に届いたということが明らかになってきました。もうどの業者に頼んだかもわかりません。20年たっているため、転居している家庭も多く、60通余り（約4割）が戻ってきています。

数年前、NHKの「チコちゃんに叱られる！」で「大人になるとあっという間に1年が過ぎるのはなぜ？」というエピソードが放送されました。チコちゃんの答えは、「人生にトキメキがなくなったから」。TVを視聴しながら、何か悲しい気持ちになったのを覚えています。今回の「過去からの手紙」にはトキメキました。なるべく多くの卒業生に届けたいと思っています。友達から聞いてご連絡をいただいた方もいました。

現在、32～33歳、末吉小の卒業生の方で心当たりのある方、学校にいらしていただければお渡しできます。是非、ご連絡をお待ちしています。



**2001年3月卒業
(平成12年度卒業生)
見覚えのある方は、
ご連絡を**